



# 松前町 国体記念ホッケー公園 ホッケー場



愛媛県では初となる、日本ホッケー協会の公認人工芝競技場で、目にも鮮やかな青い人工芝が特徴です。この人工芝は、高い耐久性と最高級のプレー性能を有しており、2014年にオランダで開催されたホッケーワールドカップのメインスタジアムにも採用されたものです。

松前町では、小・中学生の発掘・指導にも力を入れており、今後も、大会を誘致しながらホッケーの聖地を目指したまちづくりを進めます。

- ◆整備事業期間 平成24年8月～平成28年5月末
- ◆整備費用 約6億2,000万円（用地取得含む。）

## ◆施設概要

- ・ホッケー場 8,132㎡（H 111.4m × W 73m）
  - ・人工芝舗装 6,388㎡（H 101.4m × W 63m）
- ※人工芝はオランダのGreen Fields社製

Green Fields TX（無充填型人工芝：ウォーターベース）を使用。

- ・便益施設 建物：鉄筋コンクリート造り1階建て（一部鉄骨造り）  
トイレ（男子トイレ、女子トイレ、多目的トイレ）  
倉庫（放送設備を配した用具等収納倉庫）  
延床面積：158.46㎡ 施工床面積：197.90㎡



▲オーストラリアのNSW ブッシュレンジャーズとの交流試合の様子（H 29.4）。国内の強豪チームだけでなく、海外チームもこの競技場を使用しています。

# 愛媛県 松前町 (まさきちょう)

松前町は、北は道後温泉で有名な松山市、東は遠くに西日本最高峰の石鎚山を望み、南は伊予市と接し、西は伊予灘に面する人口3万人余りの町です。町の南北を国道が縦断し、空港に近く、JRや私鉄が走るなど交通の利便性に優れています。

町内各所には湧水が見られ、水と触れ合える親水公園を整備しているほか、はだか麦の生産量 30 年連続日本一の愛媛県の中で県内有数の産地となっているなど、豊富な水と肥よくな土地を生かした農業が盛んです。また、日本有数の小魚珍味加工生産量を誇る水産業、中四国最大級の施設が立地する商業、世界シェアの約 35% の高性能炭素繊維を生産する化学繊維工場が立地する工業など、農水商工業がバランス良く発展しています。



黄金色に輝く特産「はだか麦」(写真上)と全国シェアNo1「小魚珍味」(写真左)



約 670km  
約 1 時間 30 分



松前町夏の風物詩「はなぎり競漕」(写真上)と町花「ひまわり」(写真左)

